

南陽図書館つうしん 2015夏号



〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目130-79
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）
第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始、
特別整理期間【6/15（月）～6/19（金）】
ホームページ：<https://www.library.city.nagoya.jp>

図書館には何があるの？

入学、就職、転勤、卒業、退職など、なにかと慌ただしい春が終り、ゴールデンウィークが過ぎた今は、すっかり初夏の気配となりました。かくいう私も、4月に南陽図書館に異動してきました。

南陽地区は、商店街、公設市場、ショッピングモール、公園、プールなど、多様な施設があり、また、川、田んぼ、干潟、緑地などに四季の花や鳥、自然も感じられ、楽しさにあふれています。

そんな生活を楽しむ「目的地」の中に、図書館も是非仲間入りさせてください。

6万冊の本…南陽図書館には一般向け約4万7千冊、児童向け約1万9千冊、しめて約6万6千冊の本があります。内容も、文学、暮らしや趣味に役立つ本、知識の本、健康情報、絵本などさまざまです。本だけでなく紙芝居、雑誌、CDなども揃えています。静かに読書できる閲覧席、親子で読みきかせを楽しめる小部屋、自習できる学習室、新聞の閲覧席と、座席も目的別にあります。

団体貸出をご存じですか？…保育園、福祉施設、子ども文庫、読書会など、施設やグループにまとまった冊数の本を最長3ヶ月お貸しできるサービスがあります。

予約もできます…南陽図書館にない本、貸出中の本は「予約」できます。他館からの取り寄せや順番待ちができます。

ご相談は気軽に窓口へ…利用の方法、調べものの相談など、判らないことは窓口やお電話にてご相談ください。「こんなことについての本はある？」といった漠然とした調べものでも大丈夫です。「司書」がお探しします。
(Y. S)

新しく入った本の紹介



■ 新訳 フランケンシュタイン

メアリー・シェリー KADOKAWA

フランケンシュタインと聞いて、何を思い浮かべますか。大男の怪物でしょうか。実は、その怪物を作りだした科学者の名前です。で、怪物に名前は？ 作者メアリー・シェリーは女性です。書き上げたのは、19歳！！新訳でお楽しみください。

■ 誰でもできる自転車メンテナンス

見て分かるロードバイクの取り扱いと乗り方ブック

竹内正昭／著 新版 山と溪谷社

さわやかな季節です。自転車いかがですか。オールカラーで、スポーツバイクの修理、調整、セッティング等がわかります。楽しく、安全に走りましょう。

■ これだけは知っておきたい 働き方の教科書

安藤至大／著 筑摩書房

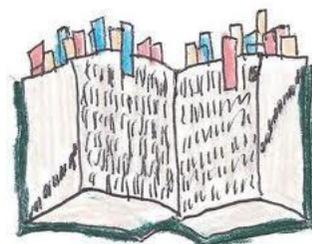
労働経済学の見地から、働くことにまつわる根本的な疑問を解き明かし、働くことの構造・現状・未来・対策を具体的な事例に沿って解説…って、何の事。気になった方は、手に取ってみてください。働くという大切なことを経済と法律という二つの視点から、紹介しています。

■ 超明解！国語辞典 今野真二／著 文藝春秋

たくさんの国語辞典が出版されています。各出版社の編者に

よって、また時代とともに、同じ言葉でも変わってきます。載っている言葉も違います。本書では小型辞書7銘柄を比較しています。

(塩)



南陽図書館からのお知らせ

南陽図書館では、お子様向けの行事を開催しています。すこし前まで、少年・少女だった方にも、ぜひ参加していただきたいです。(①)



〈夏休み工作教室〉「新聞紙で作る ひとまねこざるのふね」

新聞紙を使って、ふねや、かぶと、いろいろなものを作ります。

日時：7月30日(木) 午前10時30分～11時30分

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：幼児～小学校低学年 と保護者の方も
持物不用、申込み不要、参加費無料です。

〈夏の恒例〉「こわ～いおはなし会」

夏といえば、納涼こわいおはなし会ですね。

室内を暗～くして、お話をかたります。

日時：8月8日(土) 午後2～3時

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：小学校低学年～(こわい話が平気な方ならどなたでも)

内容：絵本、紙芝居、ストーリーテリングなど



〈夏休み映画会〉「たろうのおでかけ・たろうのげっつ」

夏休みの終わりに、映画会を行います。見に来てください。

日時：8月28日(金) ①午前10時30分～、②午後2時～

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：幼児～小学校低学年 と保護者の方も

短編4本で1時間くらいです。(午前、午後は同じ内容)



「南陽図書館」は「南陽公設市場」隣り



毎朝、市バスに揺られながら東海通をひたすら西に走ること20分強。のどかな田園風景が広がり始めるころ、バスは南陽図書館に到着します。異動して一か月。この南陽の土地や人々からたくさんのエネルギーをいただきながら、毎日元気に働いています。

図書館の公園を挟んだ隣りに「南陽公設市場」があります。公設市場が隣りにある図書館も大変めずらしいと思うのですが、それより何よりこの公設市場、とにかく安い！市内中心部に暮らす私にはヨダレものの安さです。先日、この公設市場で大きな新生姜を見つけました。ひとり暮らしの私にはあまりに大きかったので、「これしかないですか？」と売り場にいた若いお兄さんに聞いたら、なぜか「洗ってきます！」と奥に駆け込んでいきました。数分後、私の手にはピカピカに磨かれた新生姜が！そういう意味じゃなかったのに。と思いながら、何やら楽しくなって結局その新生姜、買いました

この土地で出会う小さな出来事、小さな親切の一つ一つが私にとって働くエネルギーになります。そうしていただいたエネルギーをきちんとこの土地に還元したい。そんな風に思います。

どうぞみなさん、私たちが働く南陽図書館をぜひご利用ください！そして、機会があればぜひ公設市場も覗いて見てください！（堀尾）



エッセイにちなんだおすすめ本☆

『坊ちゃん』夏目漱石／著 新潮社

私は4月に南陽図書館に異動してきましたが、この本の主人公である「坊ちゃん」も東京から四国に中学校教師として赴任します。でも、その中学校にいたのは、いたずら好きな生徒たち、それから教頭の「赤シャツ」はじめ一癖も二癖もある教師たちでした。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。